

臼杵市 施策評価シート
(令和4年度)

| 評価担当者 | 課名 | 氏名 | 内線 |
|-------|---------|-------|------|
| | 文化・文化財課 | 神田 高士 | 3120 |

| コード | V-15-33 | 施策名 | 歴史・文化遺産の保存・活用・継承 |
|----------|--|-----|------------------|
| 施策の方針 | 文化を守り伝える | | |
| まちづくりの方針 | 磨き輝き続ける市民がつながり、臼杵っ子が育つまち(学び) | | |
| 5年後のめざす姿 | 「国宝・特別史跡臼杵磨崖仏」や「国史跡下藤キリシタン墓地」などの文化財と、これらが伝える臼杵の歴史や文化・風土を、住みよいまちづくりの実現や観光や産業の振興のために有効活用できるよう、保存と継承を行います。そのために観光協会が取り組む「仏教遺産」と「キリシタン文化遺産」をつなげる「祈りの回廊」事業とタイアップし、情報発信・観光振興の支援、臼杵の将来を担う子どもたちが、臼杵の文化や歴史と出会い・ふれ合える学習環境の充実を図り、人材育成を行います。 | | |
| 施策の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・未指定文化財を含む文化財の保存・活用に関する総合的な計画である「臼杵市文化財保存活用地域計画」を策定し、文化財の保存対策を図りながら、公開活用を図ります。 ・主な文化財についても個別の「保存整備基本計画」を策定し、保存活用に努めます。 ・臼杵市所蔵の歴史資料や考古遺物について、積極的に公開に努め多くの人が学べる体制を整備します。 ・管理が困難となった文化財の管理を行う「歴史の守り人」制度を設立し、文化財の保存活用を図ります。 ・「祈りの回廊」構想の実現に向けた計画に取り組み、文化振興・観光振興を図ります。 ・「臼杵っこガイド」、「臼杵っこ学芸員」の養成により郷土愛をもつ人材を育てます。 | | |

<指標>

| 新規指標 | 指標名 | 説明・算式・引用 | 実績の推移 | | | | | | |
|-----------------|---------------------------------------|----------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|----|
| | | | 単位 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| 臼杵市歴史資料館の年間入館者数 | 歴史資料館日誌 | 目標 | 人 | 7,100 | 7,700 | 8,300 | 8,000 | 9,500 | |
| | | 実績 | 人 | 4,118 | 3,075 | 5,617 | 6,614 | | |
| | | 達成率 | % | 43.3% | 72.9% | 79.7% | | | |
| 「歴史の守り人」の育成 | 「歴史の守り人」認定名簿人数 | 目標 | 人 | 5 | 10 | 15 | 20 | 25 | |
| | | 実績 | 人 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 達成率 | % | 0% | 0% | 0% | | | |
| 文化財公開点数 | 文化財の歴史資料館や文化財管理センターにおける文化財の公開件数(単年度毎) | 目標 | 件 | 450 | 450 | 450 | 450 | 450 | |
| | | 実績 | 件 | 309 | 479 | 858 | 506 | | |
| | | 達成率 | % | 106.4% | 190.7% | 112.4% | | | |
| 臼杵っこガイド・学芸員数 | 年度毎の各認定者数の合計 | 目標 | 人 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | |
| | | 実績 | 人 | 11 | 21 | 15 | 6 | | |
| | | 達成率 | % | 105.0% | 75.0% | 30.0% | | | |
| | | 目標 | | | | | | | |
| | | 実績 | | | | | | | |
| | | 達成率 | % | | | | | | |
| | | 目標 | | | | | | | |
| | | 実績 | | | | | | | |
| | | 達成率 | % | | | | | | |

指標の分析

・歴史資料館入館者数は、萩田平五郎、山内流企画展示で集客が望めましたが、コロナ感染症の影響で目標値には達しませんでした。しかし訪れた人たちの評判はともよく、市民の新しい学びにつなげることができました。
 ・文化財公開点数は、担当者の創意工夫により歴史資料を数多く活用した展示の企画ができたことで、目標値を超えることができました。
 ・臼杵っこガイド・学芸員は臼杵っ子検定の問題が難しく、ガイド資格を得る点数に達する児童・生徒が少なかったことにより未達です。

<市民意識調査結果>

| | 領域名 | 必要度 | 満足度 | 満足度 |
|-----------------|---|------|------|------|
| 市民意識調査結果 (R4調査) | 見直し領域 | 2.48 | 2.17 | 2.03 |
| 市民意識調査結果分析 | 「見直し領域」に位置しているため、文化財の保護や保存活用に対する啓発や学習活動を学校と連携する必要があります。文化財管理に関する満足度が高いのは、臼杵磨崖仏における着生生物類除去の特別公開など、管理作業の「見える化」を進めていることで、市民が文化財管理作業を目にし、その大切さを理解してくれているためと思われます。 | | | |

<次年度以降の課題>

| | |
|------------|--|
| 令和5年度以降の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・「臼杵市文化財保存活用地域計画」の策定については、庁内や関係団体との協議を重ね、策定作業に反映させ進める必要があります。 ・臼杵市所蔵の歴史資料の積極的な公開のため、歴史資料館と文化財管理センターでは更なる連携を図る必要があります。 ・「臼杵っこガイド」、「臼杵っこ学芸員」については、各学校と連携し講習希望者の増加を図り、郷土愛をもった人材を育てます。 次年度以降は、今年度試験的に実施した資料館での民俗資料学習など、資料館を活用した体験学習や出前授業を通して臼杵の子供たちに臼杵の魅力を伝えていくことに重点を置きます。 |
|------------|--|

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

| 事務事業名 | 事業内容 | 担当課 ※実施した課を記入 | 課の重点 ※運営計画記載 | 事業費(単位:千円) | | | 課長評価 | 公共5カ年 | 他の関連施策コード |
|--------------------------|---|------------------|-----------------|------------|--------|------------|------|-------|-----------|
| | | | | R3年度実績 | R4年度実績 | 令和5年度年度見込み | | | |
| 1 臼杵磨崖仏劣化監視委託事業 | 第4期保存修理に向けた基礎調査として目視観察や温湿度記録計測と令和2年度に設置した防犯カメラにより、磨崖仏の劣化状況の把握と記録保存を行います | 文化・文化財課 | ○ | 7,858 | 7,513 | 7,837 | 継続 | ○ | |
| 2 国史跡下藤キリシタン墓地保存活用計画策定事業 | 下藤キリシタン墓地について、保存と活用の方針となる計画の策定を行います | 文化・文化財課 | ○ | 1,642 | - | - | 重点継続 | ○ | |
| 3 国宝・特別史跡臼杵磨崖仏保存活用計画策定事業 | 臼杵磨崖仏について、保存と活用の方針となる計画の策定を行います ・国宝臼杵磨崖仏保存活用計画の策定(R1~R2) ・特別史跡臼杵磨崖仏保存活用計画の策定(R4~R5) | 文化・文化財課 | ○ | - | 2,157 | 3,596 | 重点継続 | ○ | |
| 4 臼杵城跡保存整備事業 | 県史跡臼杵城跡の保存整備に取り組みます ・鎧坂岩壁崩落箇所の安全な通行対策(防護壁) ・各櫓の災害復旧修理 ・国指定に向けた取り組み(総合調査報告書作成) | 文化・文化財課 | ○ | 6,656 | 14,194 | 12,057 | 重点化 | ○ | |
| 5 | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 16,156 | 23,864 | 23,490 | | | |

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

| 進捗状況 | 過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題となり、未指定を含めた文化財をまちづくりに活かしつつ、地域社会総がかりで、その継承に取り組んでいくことが必要ことから文化財保護法が一部改正され、これに基づき「臼杵市文化財保存活用地域計画」を作成し、令和6年度中に文化庁承認を受けるよう準備を進めています。今後はこの計画によって効率的かつ効果的な各文化財の保存活用計画をはかります。 | 課長評価 | 目標を達するため、現状維持とする |
|------|--|------|------------------|
|------|--|------|------------------|

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度~令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

| 実施年度 | 「臼杵市文化財活用地域計画」の策定は、今後の文化財の効率的かつ適切な保存・活用をはかり、臼杵の歴史文化を住みよいまちづくりに活用していくことにつながります。まずは臼杵城跡の国史跡指定を重点的な取り組みとして、全庁的な協働体制を構築します。 | 内部評価 | 重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する |
|------|---|------|----------------------------|
|------|---|------|----------------------------|

<臼杵市行政活性化推進委員会による外部評価:最終>

| 外部評価 | 強化 | 評価のコメント | 地域にある文化財の認知を、地域の内側から高めるための事業を、祈りの回廊や観光関連の事業などでの活用にあわせて検討してほしい。文化財の国史跡指定にあわせて、臼杵の歴史や文化をよりまちづくりに活用できるよう検討、連携を強化してほしい。 |
|------|----|---------|---|
|------|----|---------|---|

<臼杵市行政活性化推進委員会を受けての市の取組>

「臼杵市文化財保存活用地域計画」のに基づき、庁内関係部局、外部団体などと連携を図りつつ、臼杵の文化的特性を活かしたまちづくりに向け、市内の文化財の保存と活用をはかっていきます。特に観光事業と連携を図り、市内内外積極的にアピールするよう努めます。